

新潟県

公民館だより

12

December 2020

No.810



妙高はねうまカレッジ「まなびの杜」自然環境コース
郷土の豊かな自然環境に触れ、ふるさと妙高のすばらしさを学びました。

CONTENTS

特集

4～5

にいがた早寝早起き朝ごはん～県民フォーラム2020～
令和2年度 下越地区公民館職員研修会 開催

2 トピックス ～学びの循環と実践の継続～
学校との連携について

新潟市生涯学習センター 阿部 勉

3 視点 よろしくお願ひします

下越教育事務所社会教育課 副参事 五十嵐一樹

ひろば 地域学校協働活動初年度 ～地域と学校をつなぐ～

聖籠町地域学校協働活動 統括推進員 澁谷 哲

掲示板 第32回全国公民館セミナー開催要項

新潟県公民館連合会公民館だより編集委員会

6 実践記録シリーズ 柏崎公民館講座

柏崎公民館

7 サークル交流

五七五を楽しむ

あゆかわ句会 (佐渡市)

ハーモニカサークル ハーモニカ倶楽部スマイリー (上越市)

素顔拝見

小熊 伸さん (五泉市) / 中村 心さん (阿賀野市)

8 お元気ですか

趣味を生かして仲間と活動

小山泰正さん (村上市)

恵贈資料紹介

「文芸しばた」第46号 / 「文芸むらかみ」第11号

「学びの循環と実践の継続」 学校との連携について

新潟市生涯学習センター 阿部 勉

新潟市生涯学習センターは、時代や社会の変化、並びに市民の専門性の高い学習ニーズに応じた多様な学習機会を提供するため、平成6年度より「いがた市民大学」を開講しています。また、この市民大学には、

「受講者が自主的に学習成果を地域活動や教育活動に生かしていく」という目的もあり、これまで講座修了後に多くの自主学習グループ（23団体）が結成されました。今回は、その中から学校との連携を軸に活動している自主学習グループ「大人向けプログラミング勉強会」の取組みをご紹介します。

* * *

「大人向けプログラミング勉強会」（以下「勉強会」）は、平成30年度のいがた市民大学開設講座「ロボットと生きる」の受講生による自主学習グループで、情報教育のサポーターとなることを目的としてプログラミングの技術や知識を学んでいます。講師は新潟大学工学部の今村孝准教

授で、1回1時間半の講義・演習と30分の情報交換会を約20回（6か月間）行つて1クールとし、プログラミングの考え方や教え方、プログラミングツールの使い方等を学ぶ内容になっています。

勉強会における「学びの循環と実践」の場は大きく分けて2つあります。1つは、勉強会を繰り返し受講して自身の理解を深め、また、メンバー同士で学びをサポートし合う場です。勉強会での演習時はもちろんですが、それ以外の日もメーリングリスト等を活用して学習状況を伝え合ったり、疑問点を教え合ったりすること、お互いの学びを確認し、深めていきます。もう1つは、学校の課外（クラブ）活動等における学習支援ボランティアとして活動する場です。

* * *

勉強会と学校との連携は、生涯学習センターが、「学んだ成果を学校や地域に還元したい」という勉強会の

思いと、「小学校に導入されるプログラミングを子どもたちに体験させたい」という市内小学校のニーズを把握するところから始まりました。そして、勉強会のメンバーと学校とのマッチングを生涯学習センターが担い、対象児童や学習の内容、支援の範囲などを決定していきました。対象となった学校ではパソコンクラブの児童を対象に、アニメーション（動画）等の制作を通してプログラミングを体験してもらうということになりました。

* * *

下の写真は、今年度のパソコンクラブの様子です。毎回、講師の今村孝准教授からその日のテーマに沿った学習内容や方法の説明があり、活動がスタートします。メンバーの皆さんは、必要に応じて子どもたちに助言をしています。

このようにコミュニケーションを重ねることで、子どもたちは限られた時間と回数の中で、楽しみながらプログラミングの基礎を学び、自分の表現したいものを作品として具体化することができます。また、メンバーの皆さんは、自身のプログラミングの技能や、子どもたちとの関わり方というボランティアスキルを高めていくとともに、作品の完成や子

どもたちからの感謝により、達成感を得ることができます。

* * *

先日、今年度のクラブ支援が終了し、学校と勉強会との間で、さっそく来年度に向けた打合せを行いました。また、今後、勉強会では新規のメンバーを加えた講座を始める予定で、「学びの循環と実践」の継続が期待できます。

生涯学習センターでは、今後このような「学びの循環と実践」が多くの場で展開されるよう各団体・グループを支援していきたいと考えています。





「地域学校協働活動初年度 ～地域と学校をつなぐ～」

聖籠町地域学校協働活動

統括推進員 澁谷 哲



今年度、聖籠町では『地域学校協働本部』が設置され、地域総がかりで子どもたちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指しています。コロナ禍で、様々な制約の中でのスタートとなりましたが、これまでの学校支援の実績を土台とし、200名を超えるサポーター（ボランティア）の皆さんの支えで活動を進めています。

初年度の取組に、『サポーター研修』があります。「読み聞かせ」「町の歴史音の暮らし」「フラー・アレンジメント」と、学校支援に関連する講座を公民館等で実施しています。どなたでも参加できる気軽な研修ですが、本当は学校で行いたい事業です。学社融合の先進地習志野市の秋津コミュニティは、30年近く協働活動の実践を続けています。ベースは空き教室での生涯学習です。秋津小学校の元校長宮崎稔さんは著書「学校も地域もひらくコミュニティ・スクール」で、「自分の地域や地域の子どもをそして自分自身を、学校という場で自分らしさを発揮して生きているということが

本来のコミュニティ・スクール」と述べています。「学校を開く」ためには、より多くの住民が当たり前のように学校に行く環境づくりが大切。『学社融合』に、その扉の鍵があると考えます。

年末、町内の小学校で保護者のお母さんたちと担当の推進員が「お正月のしめ縄飾り作り」の講習会を企画しました。講師はサポーターさんです。校長先生も教室使用を快諾してくださいました。学校を核とするコミュニティの小さな一歩をうれしく感じています。

視点

「よろしく願っています」

下越教育事務所社会教育課
副参事 五十嵐一樹



私は、この4月から現在の職場にお世話になってます。もとは中学校教員ですが、教員生活もあと4

年となったところで初めて、生涯学習・社会教育に携わることになりました。

分らないことばかりです。スタートしたところ、新型コロナウイルスの感染拡大により、様々な事業が中止となりました。現在は、制限はあるものの、感染予防対策をとり、事業は実施できているので、よかったと思っています。

しかし、この状況は、これからも続くと思われるので、これまでの取組を振り返り、これから生かせることを考えていかなければならないと思っ

ています。

その1つが、オンラインの可能性です。今年度予定されていた研修会の多くはオンラインによる開催となりましたので、ここ数か月の間にいくつかのZoomによる研修会に参加させていただきました。最初は緊張していたのですが、慣れてくるとしだいに楽しくなって、環境整備等が必要となるものの、大きな可能性を感じています。

特に、Zoomの場合、ブレイクアウトセッションによって小グループでの話し合いもできますし、チャットの機能を使え

ば、質問や意見を表出することもできます。大人数では発言が苦手な私のような気の小さな者でも、むしろ参加しやすい気軽さも感じています。

新型コロナウイルスは、私たちの生活から多くのものを奪いましたが、反面、これを克服して生き抜く取組は、多くの新しい可能性を導き出してくれるのではないかと考えています。そんな可能性を、この生涯学習・社会教育に携わる中で少しでも広げていけたらと考えています。

お世話になりますが、よろしく願っています。

第32回全国公民館セミナー開催要項

- ①テーマ「新しい公民館のカたち～コロナに負けない公民館活動～」
- ②定員：70人 ③会期：令和3年1月20日(水)～22日(金)
- ④会場：国立オリンピック記念青少年総合センター
- ⑤プログラム：

【1日目】(1)これからの公民館運営を考える。／コーディネーター：牧野 篤氏(東京大学教授)／ゲスト：上田 假奈代氏(特定非営利活動法人こえとことばとこころの部屋代表)、南 信乃介氏(那覇市繁多川公民館館長)(2)文部科学省の公民館をめぐる動き／横井 理夫氏(文部科学省総合政策局地域学習推進課長)

【2日目】(1)お笑い芸人に学ぶコミュニケーション術／わさび(お笑い芸人)、ピーチキスけん(お笑い芸人)(2)ワークショップ



掲示板

「新しい時代の講座づくり」／宮城 潤氏(若狭公民館長)

【3日目】(1)集中講義「公民館を地域づくりの基盤に」／牧野 篤氏(東京大学教授)

新潟県公民館連合会公民館だより編集委員会

①日時：令和3年2月3日(水) 13:30～16:00

②会場：新潟市中央公民館301 講座室

③内容：(1)令和3年度公民館だよりの編集について

- ①市町村執筆担当の確認 ②特集執筆者の選定
- ③紙面構成の検討 ④データ配信について

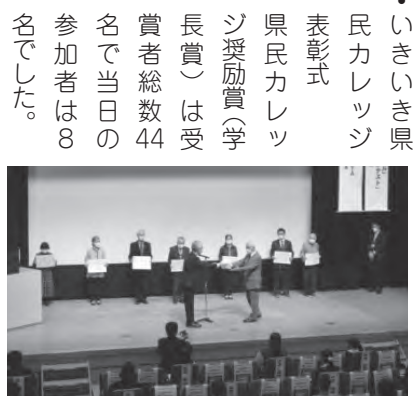
- 「にいがた早寝早起朝ごはん」が11月22日(日)に新潟ユニゾンプラザ(新潟市中央区上所)で開催されました。その様子を写真で紹介します。
- 午前
- ・フォーラム開会式
- ・読書おたよりコンクール表彰式

にいがた早寝早起朝ごはん
～県民フォーラム2020～

にいがた早寝早起朝ごはん ～県民フォーラム2020～

開催

令和2年度 下越地区公民館職員研修会



学長賞授賞式

- ・中高生POPコンテスト表彰式
- ・BSNキッズプロジェクト賞表彰式
- ・PTA実践発表(2校)
- 見附市立田井小学校PTA
- 「保護者・子どもたちで取り組む『メディアコントロール』」
- 燕市立燕南小学校PTA
- 「脳を育てるみんなの眠育」
- ・いきいき県民力レッシ
- 表彰式
- 県民力レッシ奨励賞(学長賞)は受賞者総数44名で当日の参加者は8名でした。



読書おたよりコンクール表彰式

- 2F調理実習室
- ▼婦人連盟
- 「朝ごはん作りの実習・非常食の展示」
- ▼ガールスカウト
- 「みそ玉作りの実習」
- ▼ボーイスカウト
- 「非常食の展示」



展示「おなかの仕組みをみてみよう」



親子で室内フォトオリエンテーリングにチャレンジ

- ▼県子ども会育成連合会
- 創作活動「きらきらシャボン玉」
- ▼県少年自然の家
- 「室内フォトオリエンテーリング」

- 1F屋内イベント広場
- ▼ガールスカウト
- 保存食「みそ玉」作り
- ▼新潟中央ヤクルト㈱
- 展示「おなかの仕組みをみてみよう」



みそ玉作り

- 4F研修室
- ▼県立生涯学習推進センター
- 「親子で家族で個人でエンジョイ!生活習慣向上講座」
- ▼婦人連盟
- 「子育て座談会」
- ▼新潟中央ヤクルト㈱
- 「おなか元気教室」
- ▼下越・新潟地区社会教育主事等会・生涯学習協会
- オンライン家庭教育講演会「そしてパパになる」父親の子育て支援を考える」
- 講師・京都光華女子大学准教授 松本しのぶさん



会場・オンライン参加あわせて33名が参加しました。



朝ごはん作り調理実習の様子



伊藤 謙二
下越教育事務所社会教育課

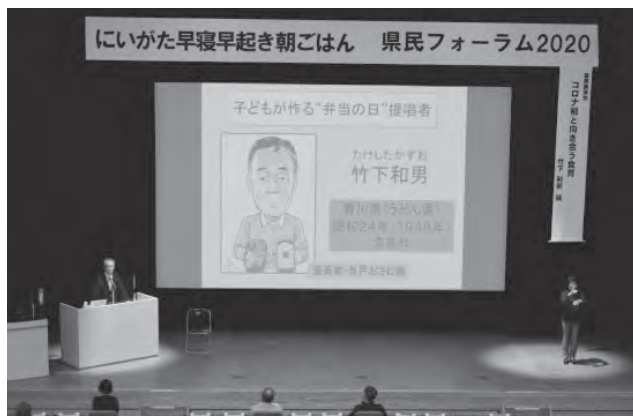
●開会式

下越地区公民館職員
研修会が令和2年11月
26日(木)に胎内市の県立
少年自然の家で開催さ
れました。



会場の新潟県立少年自然の家

令和2年度 下越地区公民館職員 研修会



基調講演会

●基調講演「コロナ禍と向きあう食育」

講師：竹下和男さん
「子どもが作る弁当の日」提唱者

●研修①「研修講座の作り方」

フォトオリエンテーリングやハウ
スゲームをグループに分かれ体験し
ました。

プログラム作成の留意点等につい
て丁寧な説明がありました。



フォトオリエンテーリング



ハウスゲーム

●研修② Zoomの使い方

講師：新潟県立生涯学習推進センター
菊地直和さん

本日のねらいは、「Zoomの体験
参加できる。主催してみる。」でした。



講師：菊地 直和 さん

資料「Zoomの基本操作」に沿っ
て体験しました。

●参加しよう

①サインアッ
プからサイ
ンインまで

②アプリの
起動

③ホーム画面
の確認

④設定画面で
ビデオと音

のテスト

⑤ミーティング1にIDとパスワー
ドで参加

⑥チャット…テキスト+画像を送る

⑦画面共有+チャットで交流

⑧画面共有…ホワイトボードに描く
↓共同で付け足す

⑨ミーティングの終了

⑩ミーティング2にIDとパスワー
ドで参加

⑪名前の変更

⑫ブレイクアウトルーム体験(しり
とりをしました)

⑬画面共有

●主催しよう

①ミーティングを始める(チャット、
画面共有の練習)

②ミーティングを終了する

③ミーティングを予約する(設定、
変更、削除)

④ミーティングに招待する(予約した



ミーティン
グに事前に
招待する)

⑤ミーティン
グを始める

(チャット、
画面共有の
練習)

⑥ミーティン
グの終了

●情報交換「地域と学校の連携・協働
の中で公民館としてできることは？」

参加市町村
の実態や取
組について
情報を交換
しました。

●参加者の感想

●情報交換で
は、他市町
村の状況・
活動内容、
参考になっ
た。今日学
んだことを活用できるように考え
たいと思います。

●Zoom研修を受けたことがなかつ
たのでとても有意義でした。スマホ
とPCでは使える機能にかなり差が
あること、使用方法もかわってくる
ことが学べてよかった。



実践記録シリーズ

「柏崎公民館講座」

柏崎公民館

柏崎公民館講座

市民の学習意欲の向上、興味関心の目覚めや発展を促し、生涯学習の推進を図る事を目的として実施しています。講座は小・中学生を対象として夏休みや冬休みを中心に開催する「子ども向けコース」、高齢者向けの「シニアコース」、年齢を問わず受講できる「エイジレスコース」に分かれています。シニアコースとエイジレスコースでは通年で講座を開催しており、令和元年度は3コース合わせて81講座を開講、1,539人の方から受講して頂きました。今年度実施した講座を一部ご紹介します。

子ども向けコース

例年、料理・工作・科学実験などの体験講座を行っていますが、今年の夏休みは感染症対策のため開催を断念。それでも子どもたちに学習機会を与えたく、自宅で参加できるオンライン講座を開催しました。その名もバーチャ



ルニューヨーク社会科見学ツアー！ニューヨーク在住の講師から200mを通じて、ニューヨークの街並みや観光名所を紹介して頂きました。実際の映像はまるでニューヨークを歩いているようで、リアルなニューヨークの様子をよく知ることができ、「行ってみよう！」との声も聞かれました。

エイジレスコース



釣り初心者向けに開催した「はじめての釣り講座」では市内在住の釣り愛好家を講師に迎え、講義と実践で釣りを学びました。マナーをはじめ釣竿の使い方、針や餌の取り付け方などの基本から、柏崎ではどの季節にどのような魚が釣れるのかも紹介も



して頂き、早く釣りに行きたい！とワクワクさせてくれる講義でした。満を持して迎えた実践では参加者全員が魚を釣ることができ、釣った魚の数や大きさを競うミニゲームも大盛り上がりでした。

シニアコース



「料理教室は女性ばかりで参加しにくい！」そんな声にお応えして定期開催している男性限定料理講座では回を重ねるごとに参加者が増えており、シニア男性の料理に対する関心の高さが窺えます。「料理が好き」「一人暮らしになった時に備えたい」「家族に振る舞いたい」など参加理由は様々ですが、ベテラン講師のやさしいレシピで参加者全員が立派に料理を仕上げる事が出来ます。この秋はお店にも並べられそうな手作りチャーシューを作りました。たまにハブニン



グもありますが、講師の「料理に失敗はありません。出来たものがあなたのレシピです」という言葉を力に変えてメキメキ上達しています。



家族の
ような温
かさや優
しさにあ
ふれた句
会で毎月
1回、1
人7句の
投句で切

句会名の「あゆかわ」は風土記に出ている「相川はもと鮎川と書けり」から付けたと聞きました。昭和五十五年の発足ですが、当時を知る会員ははいません。数年前から赤塚五行先生（俳誌『朱鷺』主宰、新潟日報や佐渡テレビの選者）に講師をお願いし、会員も少しずつ増えています。

五七五を楽しむ あゆかわ句会 (佐渡市)



礎琢磨しています。老若男女十名、特に長老が元気で笑いが絶えません。

一昨年は佐渡俳句協会の第1回吟行大会があり、地元として積極的に協力しました。

毎年、11月には相川地区美術展があり「あゆかわ」の会員も作品を2点出品しています。また、五行先生による「俳句体験コーナー」を今年初めて設けて、一般の人からも俳句を作ってもらい、会場に作品を展示しました。初めてで心配しましたが、小中学生の親子の参加が何組もあり、早い添削に喜びの声がありがたかったです。来春は「ひなまつり吟行」も考えています。

(代表 絹沢裕子 記)

ハーモニカサークル

ハーモニカ倶楽部 スマイリー (上越市)

上越ではめずらしい複音ハーモニカ倶楽部です。60代〜80代の13人で活動しており、今年で活動を始めて7年になります。楽しさと笑顔で歩もうと、サークルの名称を「スマイリー」としました。始まりは市内のカルチャースクールでしたが、8月が



ら場所を
高田城址
公園オー
レンプラ
ザに移し
て月2回
活動して
います。

スタートです。音階、テンポの基本を大切に、きれいな音をめざして練習しています。今ではコードハーモニカ、バスハーモニカを加えた本格的なアンサンブルとして、童謡、唱歌、叙情歌、歌謡曲など数多くの曲をレパートリーにしています。

今年はNHKの朝ドラ「エール」の古関裕而の楽曲を取り入れ、来年3月の発表会に向け、ハーモニカも八長調のほか、イ長調を加えました。吹き吸いの楽器なので呼吸法が健康によく、シニアにとって最高の楽器です。先日、コロナ禍の中、「地域に元気を！」のイベントに参加し、ステージに立ちました。元気！スマイリー！

(ハーモニカ指導員 市川昭雄 記)



五泉市生涯学習課 村松事務所 生涯学習係

係長 小熊 伸 さん

なんといっても「晴れ男!」、愛車はいつもピッカピカ、村松公民館の小熊係長を紹介します。

村松公民館に配属されて今年で3年目。小熊係長が担当する行事やコンサートで、雨に見舞われたことはありません。コンサート前日に傘袋の準備など、備えをするものの、当日は天候に恵まれ、主催者側も演者側も、なによりお客様もとても助かります。今後も係長の晴れ男パワー！に期待しています。

今年はコロナ禍のため、例年とは違う仕事へのアプローチが求められました。「何ができるか」を一緒に考え相談ののってくれました。地元飲食店を応援しようと、率先して外食し体重増加…そんなこともありましたが、今はダイエットにも成功。

話題はつきず、職場を明るい雰囲気にしてくれる“うちの係長”。

これからもよろしくお願いします。

(五泉市生涯学習課 村松事務所 生涯学習係
藤間 伸子 記)

素顔拝見



阿賀野市生涯学習課 笹神ふれあい会館

主事 中村 心 さん



笹神ふれあい会館の中村心さんを紹介합니다。

中村さんは採用されてから2課目の異動で、昨年10月から生涯学習課に勤務している、フレッシュな青年です。施設管理や他事業をこなしながら、毎年5月に行われる成人式の担当を受けもちました。コロナ渦を受け延期となってしまうしましたが、持前の新しい視点と行動力を発揮し、実行委員と様々な意見交換を行い、無事に動画を作成し11月22日配信することが出来ました。初めての試みでしたので大変だったとは思いますが、他では出来ない事業を実施することができ、苦と思わず、いい経験が出来ましたと、目を細めていたのは頼もしい限りです。

社会教育の現場は、地域のニーズをキャッチし具体化していくことが業務でもあります。中村「心」と書いて「まこと」と読みます。まことの心で、阿賀野市の社会教育の現場を見つめ、これからも盛り上げていただきたいと思います。〔安田公民館 小林 英伸 記〕

「文芸しばた」第46号は詩・短歌・俳句・川柳・随筆・小説の6部門合わせて131人の方々から352点の作品が紹介されています。



惠贈資料紹介

「文芸しばた」第46号 「文芸むらかみ」第11号

「文芸むらかみ」第11号は随筆・短歌・俳句・川柳・詩・コント・特別寄稿で134点が紹介されています。また、文芸むらかみ連続投稿者一覧も掲載されています。



「趣味を生かして

仲間と活動」

小山 泰正（村上市）

私は現在75歳ですが、56歳の時に脳出血を患い、右半身に大きなまひを抱えています。スポーツ大好きな私でしたので、半身不随は耐え難く暗闇で



もがく日が続いた中、同病の仲間からスポーツ吹矢のことを聞かされました。挑戦の気持ちで臨んだ所、的を射る快感が心地よく、何と、吹矢にはまってしまいました。全国大会にも出場し、賞を得、公認指導員の資格もとりました。地域の方々からの声を受け、スポーツ吹矢のクラブ、愛好会もでき、指導に当た

ています。和気あいあいで成績も向上し、楽しく元気に吹矢をするのを見ると、身体の不自由な私も、元気が湧きます。

加えて、川柳も楽しんでます。川柳は世のこと、人のことを少し斜から詠むので、読む人の心をなごませます。楽しみながら詠むので、仲間もみんな楽しい人ばかりです。コロナ禍で世の中暗くなっていますが、みなさんが笑顔になれるようなものを詠み、共々元気になるように頑張っています。

カラオケも楽しいです。老齢になると活動がにぶり、家に閉じこもりがちですが、昔のことをなつかしき、カラオケするのもいいですね。カラオケは、精一杯声を出すので健康にも良く元気が出ます。

どうかみなさんも、趣味を生かし、仲間と楽しみ、楽しく元気のよい生活をつくりましょう。

雪によって生ずる諸問題解決のため取り組んでいます

新潟県をはじめとする豪雪地帯は、豊富な水資源や良好な自然環境に恵まれ、食料やエネルギーの供給地として、我が国を支える重要な役割を担っております。

協議会会員18市町村は、緊密な連携を図りながら一致協力して特別豪雪地帯の住民生活の向上を図るため、取り組んでいます。

新潟県特別豪雪地帯市町村協議会

会長(妙高市長) 入 村 明 (会員18市町村)

新潟市中央区新光町4-1 新潟県自治会館(新潟県市長会内)
TEL 025(284)3434 FAX 025(285)3135

編集後記

今年も早いもので師走を迎え、残すところあとわずかとなりました。今年は何といても予想にしない新型コロナウイルス感染症が拡大して、世界史にも残るような1年でした。来年は5年です。干支の意味を調べたら、うしは粘り強さと誠実の象徴という意味をもっているということでした。来年こそは、新しい日常を粘り強く続け、1日も早い新型コロナウイルス感染症の終息を願い、平和な年でありたいように頑張りますように。(広瀬)